

仙北市市制10周年記念

角館の伝統芸能



昼の部

白岩雲巖寺奉納舞

14:30頃●白岩ささら●堂野口ささら

角館樺細工伝承館前広場

14:00～●広久内ささら●居合術

〔雨天の場合は角館樺細工伝承館総合研修室〕



ささらのそもそものは、
佐竹家が常陸から秋田に
国替えとなり、
下向の際、
佐竹義宣公にお供して
道々殿様をお慰めして来たものが
土地に定着したものとわれ、
四百年以上の歴史を持つ行事です。
現在は盆行事の一つとして、
祖霊と新仏供養、五穀豊穡のために
スラ(舞うこと)れています。

ささら観光行事

8月15日^土

夜の部

立町ポケットパーク

角館郵便局前～立町十字路／雨天決行

18:00～21:00〔歩行者天国＝17:00～22:00〕



- ①18:00～18:20 ●白岩こどもささら
- ②18:25～18:45 ●広久内ささら
- ③18:50～19:10 ●白岩ささら
- ④19:15～19:30 ●踊りパレード
- ⑤19:45～20:00 ●踊りパレード
- ⑥20:05～20:25 ●広久内ささら
- ⑦20:30～20:50 ●白岩ささら

踊りパレード

角館音頭を踊ろう会
と市内の小学校の皆さんによる
「角館音頭」と「おやまこ」、「角館
小唄」の踊りパレードをご披露
します。

立町商店会

屋台

焼とり・焼そば
生ビール等

振舞酒

納涼歩行者天国 17:00～22:00

商店街でも演舞

駅前会場〔駅前〕…………… 19:15～19:35 ●広久内ささら
駅通り会場〔渡部なると餅店隣り駐車場〕 19:40～20:00 ●白岩ささら



どうのくち
堂野口ささら

ひろくない
広久内ささら

しらいわ
白岩ささら

伝承地	堂野口地域	白岩広久内地域	白岩地域
上演場所	水神社・雲巖寺・藺田・部落内	白山神社・五社神社・稲荷神社・部落内	雲巖寺・白岩神明社・部落内
日程 (8月)	7日 笠揃い 水神社で舞う 13日 夕方に水神社で舞った後、部落内へ 14日 朝から部落廻り 15日 昼2時/雲巖寺 17日 笠納め	7日 夜に足揃い 白山神社 13日 白山神社で舞った後、部落内へ 14日 午後6時から部落廻り 15日 朝6時まで 15日 昼に樺細工伝承館 夜に角館の送り盆行事 17日 広久内 五社神社 18日 広久内 稲荷神社 19日 笠納め	7日 夜に白岩神明社 13日 夜に雲巖寺 14日 朝から部落廻り 15日 昼2時に雲巖寺 夜に角館の送り盆行事 16日 部落廻り 20日 白岩神明社 笠納め
構成	①舞手(ささらスリ) 赤獅子1 女獅子1 男獅子1 カラス [赤の鳥面に頬被り、ささらを持つ] ②笛(3~4名) ③謡あげ(5~6名)	①舞手(ささらスリ) 黒1[雄獅子] 赤2[角の大きい方が雄獅子、小さい方が雌獅子] ザッザカ [ひょっとこに頬被り、ささらを持つ] オーセイ [長い顔の面を被り、周りの厄を祓いながら、ささらの道先案内をする] ②笛(3~4名) ③謡あげ(5~6名)	①舞手(ささらスリ) 黒1[雄獅子] 赤1[雄獅子] 緑1[メ獅子(子供獅子)] ザッザカ [ひょっとこに頬被り、ささらを持つ] ②笛(3~4名) ③謡あげ(2~3名)
演目	①なで渡り [道中(その場所まで行く途中)] ②宿入り [二ワに入った時(家の前に入った時)] ③舞の演目 神立ち(かんだち)=奉納舞 神楽(かぐら)=奉納舞 恋慕(れんぼ)=供養舞 八割り(はちわり) 踞(ねまり)=供養舞 大名行列の場合 先払い2名 ぼんぼり1名 旗持ち1名 唐神1名 大将1名 刀持1名 棒つかい4~8名 十束一俵1名 鉄箱(はさんばこ)1名 唐団扇1名 ザッザカ1名 獅子3名	①なで渡り [道中(その場所まで行く途中)] ②宿入り [二ワに入った時(家の前に入った時)] ③舞の演目 恋慕(れんぼ)=供養舞 狂い(くるい)=奉納舞 踞(ねまり)=供養舞	①なで渡り [道中(その場所まで行く途中)] ②宿入り [二ワに入った時(家の前に入った時)] ③舞の演目 神立ち(かんだち)=奉納舞 恋慕(れんぼ)=供養舞 踞(ねまり)=供養舞 つくり 大名行列の場合 先払い2名 ぼんぼり1名 旗持ち1名 唐神1名 大将1名 刀持1名 棒つかい4~8名 十束一俵1名 鉄箱(はさんばこ)1名 唐団扇1名 ザッザカ1名 獅子3名
伝承組織	堂野口若者会 堂野口地域の18歳以上の男子全員が加入。40歳で退会するまで活動	広久内ささら保存会 広久内地域の男子全員が対象で、年齢の制限がなく皆で活動する	白岩若者会 白岩地域内の男子が参加。35歳で退会までの期間活動する